

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	04	01	02	144130	地域医療ビジョン推進事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-6	健康づくりの推進			
	施策	3	地域医療の充実			
目的	医療供給体制の確保					
対象	医療を必要とする市民					
意図	地域医療体制を確保することにより、市民は安心して必要な医療を受けることができる					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
①病診連携の推進 岩手中部地域医療情報ネットワーク協議会への補助、病診連携の啓発等 ②医療従事者確保 岩手県国民健康保険団体連合会が運営する市町村医師養成事業に係る市町村負担						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
市民協働の形態		事業協力・協定		委託		
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	地域医療情報ネットワークシステム運営補助	団体	計画			
			実績			
②	医療従事者確保支援への参画(国保連への負担金支出)	団体	計画	1	1	
			実績	1	1	
③			計画			
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	かかりつけ医を持っている市民の割合	%	目標	74.0	75.0	
			実績	71.5	72.7	
②	かかりつけ歯科医を持っている市民の割合	%	目標	74.0	75.0	
			実績	72.3	73.4	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
市民が将来にわたって安心して暮らしていける質の高い医療供給体制の構築にあたっては、地域の限られた医療資源の効率的な活用が前提となる。「かかりつけ医」及び「かかりつけ歯科医」を持つ市民の割合は、概ね目標値どおりの水準を維持しており、「病診連携」に対する市民の意識が広まりつつあるといえる。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない 市民が将来にわたって安心して暮らしていける質の高い医療供給体制の確保を図るためには、市の主体的な関与が必要である
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない 病診連携の普及・推進を図るためには、市民に対して広報やホームページ等を利用した周知を図っていく必要がある
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない 当該事業は「花巻市の地域医療ビジョン」に掲げる施策を推進するものであり、職員が関わるのは負担金拠出事務、関係機関との協議や連絡調整等が主な業務であるため、外部への委託は馴染まない
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である 市民が将来にわたって安心して暮らしていける質の高い医療供給体制の確保が目的であり、医療は誰でも必要であることから、受益者は特定の市民ではなく受益機会は均等である
総合評価 …上記評価結果の総括	
地域医療ビジョンに掲げる施策を推進することにより、市民が将来にわたって安心して暮らしていける質の高い医療供給体制を構築することができる。	

